

2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月14日

上場会社名 株式会社Orchestra Holdings 上場取引所 東
 コード番号 6533 URL <https://orchestra-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 慶郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 五代儀 直美 TEL 03(6450)4307
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	3,778	32.1	365	63.9	376	69.6	245	80.1
2020年12月期第1四半期	2,860	21.8	222	42.3	221	36.1	136	25.1

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 259百万円 (89.8%) 2020年12月期第1四半期 136百万円 (25.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	25.12	25.04
2020年12月期第1四半期	14.91	13.92

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	8,117	4,063	44.9
2020年12月期	4,689	1,885	38.9

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 3,646百万円 2020年12月期 1,823百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,200	20.1	870	26.8	865	26.6	540	24.0	55.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期 1 Q	9,791,600株	2020年12月期	9,789,600株
② 期末自己株式数	2021年12月期 1 Q	97株	2020年12月期	97株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期 1 Q	9,791,503株	2020年12月期 1 Q	9,156,830株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な原因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

技術進展が進むIT分野では、少子高齢化が進む中、今後IT人材不足がますます深刻化し、2030年には約45万人程度までIT人材の不足規模が拡大するとの推計結果が出ております。(出所:経済産業省委託事業「IT人材需給に関する調査」)

また、デジタルトランスフォーメーション(DX)のトレンドが進展する中、生産性の向上や業務の効率化を目的にクラウドファースト戦略を実行する企業が増える他、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行によって、「テレワークの導入」「デジタルビジネスの強化」などの喫緊の業務課題を解決するためにパブリッククラウドサービスを活用する企業も増加しております。2020年においては、緊急事態宣言下における一時的なIT投資の抑制、プロジェクトの遅延等の影響により、前年比15.3%増の1兆89億円に留まると予測されているものの、2019年～2024年の年間平均成長率は18.6%で推移し、2024年の市場規模は2019年比2.4倍の2兆567億円になると予測されております。(出所:IDC Japan株式会社「国内パブリッククラウドサービス市場 産業分野別予測、2020年～2024年」)

デジタルマーケティング領域においては、2020年のインターネット広告市場が2兆2,290億円(前年比5.9%増:株式会社電通発表)となり、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)による一時的な広告出稿の手控え等があったものの、他メディアよりも早く回復基調となることで、市場は拡大を続けております。またインターネット広告市場のうち、当社グループの主力サービスである運用型広告市場についても1兆4,558億円(前年比9.7%増:株式会社電通発表)とコロナ禍においても伸長を続けており、広告のデジタル化の流れは今後も続いていくものと判断しております。

このような環境のもと、デジタルトランスフォーメーション事業においては、引き続きクラウドインテグレーション分野の強化を進めるとともに、人材の採用育成による開発体制の拡充を進める等、当社グループにおける成長事業としての確立を推進してまいりました。デジタルマーケティング事業においては、主力サービスである運用型広告を中心に引き続き拡販を進めるとともに、MA/CRM支援を含むマーケティング全体の最適化を支援する体制を強化してまいりました。その他の事業では、プラットフォーム事業における新規ユーザー獲得のためのプロモーション施策を行うほか、新規事業への成長投資を行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,778,889千円(前年同四半期比32.1%増)、営業利益365,377千円(前年同四半期比63.9%増)、経常利益376,036千円(前年同四半期比69.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益245,915千円(前年同四半期比80.1%増)となりました。

セグメントの経営成績を示すと、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメント別の経営成績をより適切に反映させるため、一部の費用の配賦方法を各セグメントの実態に合った合理的な基準に基づき配賦する方法に変更しております。前第1四半期連結累計期間のセグメント情報についても、変更後の利益又は損失の算定方法に基づき作成したものを記載しております。

① デジタルトランスフォーメーション事業

当事業においては、事業開始からM&Aを推進し、同時にIT人材の採用を行うことで開発体制の拡充を進めてまいりました。IT利活用の多様化・高度化に伴い拡大するIT需要を取り込み、クラウドインテグレーション、各種Webシステム開発、スマホアプリ開発等の案件受注が順調に拡大しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は951,765千円(前年同四半期比21.8%増)、セグメント利益(営業利益)は、158,278千円(前年同四半期比124.8%増)となりました。

② デジタルマーケティング事業

当事業においては、インターネット広告市場が堅調に伸長する環境のもと、主力サービスである運用型広告を中心に、既存取引先からの受注額の増額や新規取引先の獲得が順調に推移しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,690,710千円(前年同四半期比36.1%増)、セグメント利益(営業利益)は、410,389千円(前年同四半期比39.1%増)となりました。

③ その他

その他の事業においては、「チャットで話せる占いアプリ「ウララ」」を主力としたプラットフォーム事業や、タレントマネジメントシステム「スキルナビ」の開発・販売、新規事業などに取り組んでおります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は152,043千円(前年同四半期比44.7%増)、セグメント利益(営業利益)は6,513千円(前年同四半期比149.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べて3,428,861千円増加し、8,117,951千円となりました。主な要因は、現金及び預金が2,977,552千円、受取手形及び売掛金が391,617千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べて1,250,954千円増加し、4,054,896千円となりました。主な要因は、買掛金が656,039千円、未払法人税等が593,197千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて2,177,907千円増加し、4,063,055千円となりました。主な要因は、連結子会社である株式会社Sharing Innovationsの株式の一部を売却したことにより、資本剰余金が1,632,654千円増加したこと、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が245,915千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期会計期間における新型コロナウイルス感染症による各事業への影響は極めて限定的であり、現時点では2021年2月12日に公表いたしました通期業績予想に変更はありません。

一方で、新型コロナウイルス感染症は今後も多方面に重大な影響を与える可能性があると考えております。当社においても各事業への影響を注視し、業績予想に修正が必要と判断される場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,413,863	4,391,415
受取手形及び売掛金	1,674,888	2,066,506
仕掛品	19,477	17,311
預け金	145,511	164,956
その他	111,696	154,799
流動資産合計	3,365,438	6,794,989
固定資産		
有形固定資産	87,187	86,540
無形固定資産		
のれん	596,312	575,457
その他	11,860	10,147
無形固定資産合計	608,172	585,605
投資その他の資産	628,291	650,816
固定資産合計	1,323,651	1,322,962
資産合計	4,689,089	8,117,951
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,272,728	1,928,767
短期借入金	28,000	-
1年内返済予定の長期借入金	233,360	233,360
未払法人税等	196,291	789,489
未払消費税等	134,992	126,081
賞与引当金	34,124	28,548
その他	339,576	432,860
流動負債合計	2,239,073	3,539,107
固定負債		
長期借入金	529,800	466,460
その他	35,068	49,328
固定負債合計	564,868	515,788
負債合計	2,803,941	4,054,896
純資産の部		
株主資本		
資本金	194,578	194,595
資本剰余金	121,832	1,754,504
利益剰余金	1,426,921	1,604,311
自己株式	△102	△102
株主資本合計	1,743,231	3,553,308
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79,441	93,260
為替換算調整勘定	382	89
その他の包括利益累計額合計	79,824	93,349
新株予約権	26,803	26,803
非支配株主持分	35,289	389,593
純資産合計	1,885,148	4,063,055
負債純資産合計	4,689,089	8,117,951

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	2,860,637	3,778,889
売上原価	2,264,055	2,889,357
売上総利益	596,582	889,532
販売費及び一般管理費	373,635	524,155
営業利益	222,947	365,377
営業外収益		
受取利息	3	7
還付加算金	335	-
補助金収入	-	6,736
債務勘定整理益	-	4,455
その他	68	1,026
営業外収益合計	407	12,225
営業外費用		
支払利息	715	658
支払手数料	907	908
その他	15	-
営業外費用合計	1,638	1,566
経常利益	221,715	376,036
特別損失		
減損損失	1,661	-
特別損失合計	1,661	-
税金等調整前四半期純利益	220,054	376,036
法人税、住民税及び事業税	78,927	125,224
法人税等調整額	4,580	5,232
法人税等合計	83,507	130,456
四半期純利益	136,546	245,579
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△23	△336
親会社株主に帰属する四半期純利益	136,569	245,915

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	136,546	245,579
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	13,818
為替換算調整勘定	-	△293
その他の包括利益合計	-	13,525
四半期包括利益	136,546	259,104
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	136,569	259,441
非支配株主に係る四半期包括利益	△23	△336

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第1四半期連結累計期間において、連結子会社である株式会社Sharing Innovationsの株式の一部を売却したことにより、資本剰余金が1,632,654千円増加しております。

これを主な要因として、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,754,504千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	デジタル トランスフ ォーメーシ ョン事業	デジタル マーケティ ング事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	779,141	1,976,426	2,755,568	105,069	2,860,637	-	2,860,637
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,275	-	2,275	-	2,275	△2,275	-
計	781,417	1,976,426	2,757,843	105,069	2,862,913	△2,275	2,860,637
セグメント利益	70,409	295,114	365,523	2,612	368,135	△145,188	222,947

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラットフォーム事業、タレントマネジメントシステムの開発・販売、新規事業等が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△145,188千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	デジタル トランスフ ォーメーシ ョン事業	デジタル マーケティ ング事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	941,065	2,685,780	3,626,846	152,043	3,778,889	-	3,778,889
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,700	4,930	15,630	-	15,630	△15,630	-
計	951,765	2,690,710	3,642,476	152,043	3,794,520	△15,630	3,778,889
セグメント利益	158,278	410,389	568,668	6,513	575,181	△209,804	365,377

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラットフォーム事業、タレントマネジメントシステムの開発・販売、新規事業等が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△209,804千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメント別の経営成績をより適切に反映させるため、一部の費用の配賦方法を各セグメントの実態に合った合理的な基準に基づき配賦する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の算定方法に基づき作成したものを記載しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。